内部評価結果調書（施策評価　９）

施策名	河川・海岸・港湾の整備

担当部局	担当部局長の氏名
建設部	大村　隆

PLAN

総合計画（前期基本計画）

基本方針	（政策）	Ⅵ　うるおい安全都市
計画項目	（施策）	③　河川・海岸・港湾の整備
施策目的	（何を対象に、どのようにすることを目的としているか）	市内の河川には京都府の管理する2級河川と市の管理河川があるが、その多くが未改修であり近年の集中豪雨時には浸水被害が多発しており、早急な改修事業の実施を促進する。 また、海岸は重要な観光資源でもあり、山陰海岸ジオパーク構想への参加とあわせ浜辺の保全対策を促進する。 加えて、閉鎖水域である久美浜湾や離湖における水質浄化のために下水道の早期整備・普及と周辺の環境整備を図る。

		指標名	総合計画策定時（H17）		前期基本計画最終実績値		目標	
めざす目標	きれいな海を未来に継承します	久美浜湾のCOD値	2.2mg／l	H15	3.2mg／l	H19	2mg／l以下	H26
		久美浜湾の全窒素値	0.25mg／l	H15	0.45mg／l	H19	0.3mg／l以下	H26
		久美浜湾の全リン値	0.029mg／l	H15	0.023mg／l	H19	0.03mg／l以下	H26

		指標名	総合計画策定時（H17）		後期基本計画策定時		目標	
※参考 後期基本計画 めざす目標	きれいな海を未来に継承します	久美浜湾のCOD値	2.2mg／l	H15	3.2mg／l	H19	2mg／l以下	H26
		久美浜湾の全窒素値	0.25mg／l	H15	0.45mg／l	H19	0.3mg／l以下	H26
		久美浜湾の全リン値	0.029mg／l	H15	0.023mg／l	H19	0.03mg／l以下	H26

DO

平成21年度実績

施策方針		事務事業	H21決算額（千円）	内、一般財源（千円）	事務事業評価の結果 目標達成度	効率性	事業内容の方向性	事業規模の方向性	担当課
1　河川・海岸の整備	1	河川環境整備事業	48,992	873	▲	○	維持	拡大	管理
		京都府管理河川（2級河川）及び市管理河川の草刈及び樋門管理等の環境整備を自治会等へ委託							
	2	ｱﾒﾆﾃｨｰ久美浜整備事業	26,487	287	○	○	廃止等	－	土木
		ｱﾒﾆﾃｨｰ久美浜のトイレの新設工事、護岸整備							
	3	河川改修事業	15,942	842	○	○	維持	拡大	土木
		市管理河川2路線において、護岸工事及び水門設備設置を実施（久美浜町 家の奥川、弥栄町 在中川）							
	4	河川維持補修事業	5,691	4,591	○	○	維持	拡大	土木
		市管理の河川護岸の修繕工事							
2　水辺の景観整備	5	ｱﾒﾆﾃｨｰ久美浜管理事業	1,973	375	○	○	維持	拡大	管理
		ｱﾒﾆﾃｨｰ久美浜公園の適正な管理							
		計	99,085	6,968					

CHECK

評価				
①施策の達成度 施策目的・めざす目標に向け、施策がどの程度達成されているか				
▲	◎　予定以上に進んでいる ○　予定どおり進んでいる ▲　少し遅れている ×　大幅に遅れている	理由	河川改修は多額の事業費が必要であり、思うような進捗が図れていない。海岸についても、一部で人ロリーフ等の浸食対策事業を実施しているが拡大要望が強い。久美浜湾等の水質浄化は下水道事業の普及を進める必要がある。	
②事業構成の有効性 施策目的の実現と、めざす目標の達成のために、平成21年度に実施した事務事業の構成が有効であったか				
○	◎　有効であった ○　おおむね有効であった ▲　あまり有効でなかった ×　有効でなかった	理由	主要な河川や海岸及び港湾等は京都府の管理であり、その整備促進に向けて、それぞれの事業要望活動を強力に展開し、その中で、予算が措置された事業を着実に実施している。 市の一般財源では、主に河川護岸の修繕工事を実施している。	

③事業の優先度
施策目的の実現と、めざす目標の達成のために、今後、優先度の高い事業と、優先度の低い事業は何か
※経常的及び任意的な事業の中から選出。(選出対象外:事務事業2)

		事務事業	理由
優先度高い	3	河川改修事業	長期間かつ多額の事業費を要するため、計画的な実施が必要。
	1	河川環境整備事業	京都府との連携もあり、毎年度必要な事業である。
優先度低い		事務事業	理由
	4	河川維持補修事業	決して低い優先度ではないが、年度分割施工など工夫が出来るのではと思われる。

ACTION

	今後の施策展開をどうするか
改善	主要な河川、海岸や港湾は京都府の管理であり、多くの改修事業を実施又は計画いただいているが、多額の事業費が必要であり思うような進捗が図れていない。このため、引き続き、要望活動を強力に展開していく。 また、環境保全や安全対策面では、漂着ゴミやプレジャーボートの不法係留問題なども大きな課題となってきており、関係機関と連携しながらその改善に努める。 さらに、多様な水洗化施策により水質浄化の取り組みを促進する。

平成２２年度　事務事業評価

整理番号
31-1

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	08	03	02	01	01
細事業名	河川環境整備事業					

担当部局	担当課長の氏名
建設部	
担当課等	川口　勝彦
管理課	担当者の氏名
	葛原　睦民

PLAN

総合計画（前期基本計画）	基本方針　（政策）	Ⅵ　うるおい安全都市
	計画項目　（施策）	③　河川・海岸・港湾の整備
	施策方針	1　河川・海岸の整備　　2　水辺の景観整備
事業の目的	（どのような目的で事業を実施するか）	京都府管理河川（2級河川）及び市管理河川において、草刈等の環境整備を地元自治会等に委託実施することにより、河川災害の防止と水辺景観の維持保全を図る。
平成26年度事業の効果目標	（平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入）	京都府管理河川　平成21年度末　165地区　⇒　平成26年度　170地区 市管理河川　平成21年度末　20地区　⇒　平成26年度　40地区

DO

平成21年度事業の実績	（何を対象に、何をしたか）	京都府管理河川（2級河川）及び市管理河川において、自治会等へ草刈及び樋門管理等の環境整備を委託実施し、河川災害を未然に防止し、水辺環境の保全を行なった。
平成21年度事業の効果	（実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入）	府河川　165箇所、1,919,000㎡の草刈を実施した。 市河川　20箇所、40,000㎡の草刈を実施した。 湯川放水樋門の維持管理を行なった。

●平成21年度決算

歳出			歳入			
予算科目	節	金額（千円）	財源内訳	項目	名称	金額（千円）
	13	48,992		国庫支出金		
				府支出金	河川環境整備委託金	47,972
				起債		
				分担金・負担金		
				その他	湯川樋門管理委託金	147
				一般財源		873
事業費合計		48,992	合計			48,992

CHECK

評価	目標達成度・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）が、PLAN（事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標）の達成に向けて順調に進捗したか		
	▲	○　進捗している（できている） ▲　少し遅れている（少しできていない） ×　遅れている（できていない）	理由：京都府管理河川については、京都府からの委託金により多くの自治会への委託によりおおむね実施できているが、市管理河川については一部において実施しているのみであり、事業の効果目標に対してやや未達成となっている。
	効率性・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）に対して、コスト削減の余地がなかったか		
	○	○　削減の余地がなかった ▲　少し削減の余地があった ×　削減の余地があった	理由：地元自治会への委託事業であるため削減の余地はない。

ACTION

改善	事業内容の方向性		
	A	A　現状維持 B　内容の見直し C　統廃合・休止・終了	理由：河川環境整備、河川災害防止の観点から引き続き実施していく。
	事業規模の方向性		
	A	A　事業拡大 B　現状維持 C　事業縮小	理由：河川環境整備、河川災害防止の観点から京都府管理河川だけでなく、市管理河川においても必要な箇所への事業拡大が必要である。

平成２２年度　事務事業評価

整理番号
31-2

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	08	06	01	01	01
細事業名	ｱﾒﾆﾃｨｰ久美浜整備事業					

担当部局	担当課長の氏名
建設部	
担当課等	担当者の氏名
土木課	川戸孝和
	大木保人

PLAN

総合計画（前期基本計画）	基本方針　（政策）	Ⅵ　うるおい安全都市
	計画項目　（施策）	③　河川・海岸・港湾の整備
	施策方針	1　河川・海岸の整備

事業の目的	（どのような目的で事業を実施するか）	本計画により、歩道連絡橋、駐車場、緑地公園、排水路等の整備を行い、久美浜一区の街並み環境整備事業と一体的に環境整備を行い、久美浜港周辺市街地の活性化を図る。	平成26年度事業の効果目標	（平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入）

DO

平成21年度事業の実績	（何を対象に、何をしたか）	本整備計画の最終となる、トイレの新設工事を実施。（平成20年度繰越 24,852千円）
平成21年度事業の効果	（実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入）	本整備計画の最後となるトイレ新設、今年度は繰越となったがこれまでの整備実施により、久美浜港周辺市街地の活性化が図れた。

●平成21年度決算

歳出			歳入			
予算科目	節	金額（千円）	財源内訳	項目	名称	金額（千円）
	9	33		国庫支出金		
	11	111		府支出金		
	12	1		起債	過疎債	26,200
	13	1,206		分担金・負担金		
	14	120		その他		
	15	24,852				
	19	164				
				一般財源		287
事業費合計		26,487		合計		26,487

CHECK

評価				
目標達成度・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）が、PLAN（事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標）の達成に向けて順調に進捗したか				
○	○　進捗している（できている）	理由	他事業の街並み環境整備事業と一体的に環境整備を行うことにより、久美浜港周辺市街地の活性化を図れている。	
	▲　少し遅れている（少しできていない）			
	×　遅れている（できていない）			
効率性・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）に対して、コスト削減の余地がなかったか				
○	○　削減の余地がなかった	理由	街並み環境整備事業と一体的に環境整備を行うことにより、両事業のコスト縮減が図られている。	
	▲　少し削減の余地があった			
	×　削減の余地があった			

ACTION

改善			
事業内容の方向性			
C	A　現状維持	理由	次年度へ繰越完成、終了
	B　内容の見直し		
	C　統廃合・休止・終了		
事業規模の方向性			
	A　事業拡大	理由	
	B　現状維持		
	C　事業縮小		

平成２２年度　事務事業評価

整理番号
31-3

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	08	03	03	01	01
細事業名	河川改修事業					

担当部局	担当課長の氏名
建設部	
担当課等	担当課長の氏名
土木課	川戸孝和
	担当者の氏名
	大木保人

PLAN

総合計画（前期基本計画）	基本方針　（政策）	Ⅵ　うるおい安全都市
	計画項目　（施策）	③　河川・海岸・港湾の整備
	施策方針	1　河川・海岸の整備

事業の目的	（どのような目的で事業を実施するか）	災害・事故等を未然に防止するため、河川施設の改修を行う。	平成26年度事業の効果目標	（平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入）

DO

平成21年度事業の実績	（何を対象に、何をしたか）	市管理河川2路線において、護岸工事及び水門設備設置を実施した。 （久美浜町 家の奥川、弥栄町 在中川）
平成21年度事業の効果	（実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入）	護岸の改修及び水門の設備設置を行うことにより、災害・事故等を未然に防ぐことができる。

●平成21年度決算

歳出			歳入			
予算科目	節	金額（千円）	財源内訳	項目	名称	金額（千円）
	13	1,439		国庫支出金	地域活性化臨時交付金	3,000
	15	12,958		府支出金		
	17	470		起債	合併特例債	12,100
	22	1,075		分担金・負担金		
				その他		
				一般財源		842
事業費合計		15,942		合計		15,942

CHECK

評価

目標達成度・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）が、PLAN（事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標）の達成に向けて順調に進捗したか

○	○　進捗している（できている）	理由	管理者として、災害・事故等を未然に防止しなければならないため、事前の改修することは必要。
	▲　少し遅れている（少しできていない）		
	×　遅れている（できていない）		

効率性・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）に対して、コスト削減の余地がなかったか

○	○　削減の余地がなかった	理由	管理者として、災害・事故等を未然に防止を図らなければならなく、事前の改修は必要であるが道路事業に比べ事業費が極端に少ない。
	▲　少し削減の余地があった		
	×　削減の余地があった		

ACTION

改善

事業内容の方向性

A	A　現状維持	理由	河川管理は、治水・防災に加えて、「市民の憩いと安らぎの空間」としての整備が求められており、更なる計画的な改修が必要。
	B　内容の見直し		
	C　統廃合・休止・終了		

事業規模の方向性

A	A　事業拡大	理由	管理者として、災害・事故等を未然に防止を図らなければならなく、事業拡大は必要。また、災害復旧事業の採択要件として、日常の維持、管理の状況報告も求められている。
	B　現状維持		
	C　事業縮小		

平成２２年度　事務事業評価

整理番号
31-4

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	08	03	02	01	02
細事業名	河川維持補修事業					

担当部局	担当課長の氏名
建設部	
担当課等	川戸孝和
土木課	担当者の氏名
	大木保人

PLAN

総合計画（前期基本計画）	基本方針　（政策）	Ⅵ　うるおい安全都市
	計画項目　（施策）	③　河川・海岸・港湾の整備
	施策方針	1　河川・海岸の整備

事業の目的	（どのような目的で事業を実施するか）	災害・事故等を未然に防止するため、土砂の堆積、堤体の欠損等により通水阻害の生じている河川施設の維持管理を行う。	平成26年度事業の効果目標	（平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入）

DO

平成21年度事業の実績	（何を対象に、何をしたか）	市管理河川2路線において、護岸の修繕工事を実施した。 （弥栄町 木橋川、久美浜町 新町川）
平成21年度事業の効果	（実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入）	護岸の修繕を行うことにより、災害・事故等を未然に防ぐことができた。

●平成21年度決算

歳出			歳入			
予算科目	節	金額（千円）	財源内訳	項目	名称	金額（千円）
	11	899		国庫支出金	地域活性化臨時交付金	1,100
	14	17		府支出金		
	15	4,775		起債		
				分担金・負担金		
				その他		
				一般財源		4,591
事業費合計		5,691		合計		5,691

CHECK

評価				
目標達成度・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）が、PLAN（事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標）の達成に向けて順調に進捗したか				
○	○　進捗している（できている）	理由	管理者として、災害・事故等を未然に防止しなければならないため、事前の修繕管理は必要。	
	▲　少し遅れている（少しできていない）			
	×　遅れている（できていない）			
効率性・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）に対して、コスト削減の余地がなかったか				
○	○　削減の余地がなかった	理由	管理者として、災害・事故等を未然に防止を図らなければならなく、事前の修繕、管理計画が必要で、道路事業に比べ事業費が極端に少ない。	
	▲　少し削減の余地があった			
	×　削減の余地があった			

ACTION

改善				
事業内容の方向性				
A	A　現状維持	理由	河川管理は、治水・防災に加えて、「市民の憩いと安らぎの空間」としての整備が求められており、更なる計画的な修繕が必要。	
	B　内容の見直し			
	C　統廃合・休止・終了			
事業規模の方向性				
A	A　事業拡大	理由	管理者として、災害・事故等を未然に防止を図らなければならなく、事業拡大は必要。また、災害復旧事業の採択要件として、日常の維持、管理の状況報告も求められている。	
	B　現状維持			
	C　事業縮小			

平成２２年度　事務事業評価

整理番号
31-5

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	08	06	01	02	01
細事業名	アメニティー久美浜管理事業					

担当部局	担当課長の氏名
建設部	
担当課等	川口　勝彦
管理課	担当者の氏名
	葛原　睦民

PLAN

総合計画（前期基本計画）	基本方針　（政策）	Ⅵ　うるおい安全都市	
	計画項目　（施策）	③　河川・海岸・港湾の整備	
	施策方針	2　水辺の景観整備	1　河川・海岸の整備
事業の目的	（どのような目的で事業を実施するか）	アメニティ久美浜公園（京都府港湾も含む）の維持管理事業の円滑な実施により、市民に港湾区域での憩いの場を提供することで久美浜湾周辺市街地の活性化を図る。	
平成26年度事業の効果目標	（平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入）		

DO

平成21年度事業の実績	（何を対象に、何をしたか）	アメニティ久美浜公園（京都府港湾も含む）の適正な管理により、市民の憩いの場の提供と、周辺に点在する観光施設と連携することで、久美浜湾周辺市街地の活性化に寄与した。
平成21年度事業の効果	（実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入）	アメニティ久美浜公園（京都府港湾も含む）約8,300㎡の維持管理を業者及び地元自治会等に委託実施。

●平成21年度決算

歳出			歳入			
予算科目	節	金額（千円）	財源内訳	項目	名称	金額（千円）
	11	74		国庫支出金		
	13	1,899		府支出金	管理委託金	1,598
				起債		
				分担金・負担金		
				その他		
				一般財源		375
事業費合計		1,973	合計			1,973

CHECK

評価	目標達成度・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）が、PLAN（事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標）の達成に向けて順調に進捗したか			
	○	○　進捗している（できている） ▲　少し遅れている（少しできていない） ×　遅れている（できていない）	理由	港湾公園として、周辺の観光施設と連携し、地域の新たな魅力としての効果を発揮しており、また、市民の憩いの場として定着するなど事業の目的についておおむね達成ができている。
	効率性・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）に対して、コスト削減の余地がなかったか			
	○	○　削減の余地がなかった ▲　少し削減の余地があった ×　削減の余地があった	理由	公園の芝生管理を民間に委託するなど効率的な管理を行っているため、削減の余地はない。

ACTION

改善	事業内容の方向性			
	A	A　現状維持 B　内容の見直し C　統廃合・休止・終了	理由	市民の憩いの場の提供と、周辺に点在する観光施設と連携による久美浜湾周辺市街地の活性化を図るため、引き続き適正な維持管理を行なう。
	事業規模の方向性			
	A	A　事業拡大 B　現状維持 C　事業縮小	理由	市民の憩いの場の提供と、周辺に点在する観光施設との連携による久美浜湾周辺市街地の活性化に対してますます期待されており、平成22年度には公園内にトイレが整備されることもあり事業規模としては拡大傾向にある。

予算科目	08土木費	03河川費	02河川維持費	
事業名	01 河川維持管理事業			決算書
細事業名	01 河川環境整備事業			P.282

決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②－①)	執行率
48,992千円	48,993千円	1千円	99.9 %

【主要な事務・事業及び成果の概要】

河川に繁茂する雑草を除去するなど環境整備を行うことにより、河川景観の保全並びに災害・事故等を未然に防止することができた。

○ 河川環境整備委託料（府管理河川） 47,975 千円

（単位：千円）

町名	峰山町	大宮町	網野町	丹後町	弥栄町	久美浜町	合計
箇所数	26	15	20	27	15	62	165
金額	5,116	3,186	2,904	6,430	8,216	22,123	47,975

○ 草刈委託料（市管理河川） 869 千円

（単位：千円）

町名	峰山町	大宮町	網野町	丹後町	弥栄町	久美浜町	合計
箇所数	8	3	4	1	－	3	19
金額	201	341	98	49	－	180	869

○ 湯川放水路樋門管理委託料 148 千円
（網野町木津地区）

【事務事業評価】

京都府管理河川の草刈等については、既に多くの自治会へ委託し概ね実施できている。しかし、市管理河川の草刈等は一部のみであり、河川災害防止の観点から今後、事業拡大を図って行く必要がある。

【主な特定財源】

府委	河川環境整備費委託金	47,972千円
府委	湯川放水路樋門管理委託金	147千円

事業所管課	建設部／管理課

予算科目	08土木費	06港湾費	01港湾総務費	
事業名	01 ｱﾒﾆﾃｨｰ久美浜整備事業			決算書
細事業名	01 ｱﾒﾆﾃｨｰ久美浜整備事業			P.292

決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②－①)	執行率
1,635千円	24,398千円	22,763千円	6.7 %

【主要な事務・事業及び成果の概要】

久美浜一区の街なみ環境整備事業と一体的に、歩道連絡橋、駐車場、緑地公園、排水路等の整備を行うことにより、久美浜湾周辺市街地の活性化が図れた。

○委託料　1,206千円
公衆トイレ新築工事設計・監理業務

○負担金　164千円
水道加入分担金

○事務費　265千円

参考	繰越明許費を除いた最終予算額	1,964千円
	実質的な予算執行率	83.2 %

■平成22年度への繰越事業　22,434千円
公衆トイレ新築事業（設計監理、工事）　平成22年6月完成　22,293千円
下水道加入分担金　140千円
事務費　1千円

【事務事業評価】

他事業である街なみ環境整備事業と一体的に整備を行うことにより、両事業のコストの縮減が図れ、久美浜湾周辺市街地の活性化が図れた。

【主な特定財源】
市債　ｱﾒﾆﾃｨｰ久美浜整備事業債（過疎対策債）　1,400千円

事業所管課	建設部／土木課

予算科目	08土木費	06港湾費	01港湾総務費	
事業名	01 ｱﾒﾆﾃｨｰ久美浜整備事業			決算書
細事業名	01 ｱﾒﾆﾃｨｰ久美浜整備事業（繰越）			P.294

決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②－①)	執行率
24,852千円	24,948千円	96千円	99.6 %

【主要な事務・事業及び成果の概要】

アメニティー久美浜整備事業として、平成20年度から繰越した護岸工事を実施した。

○工事請負費　24,852千円

アメニティー久美浜護岸整備工事

工事延長：L=103.6m

カルバート工 L=59m、側溝工 L=67m、水路工 L=30m

【事務事業評価】

他事業である街並み環境整備事業と一体的に整備を行うことにより、両事業のコストの縮減が図れ、久美浜湾周辺市街地の活性化が図れた。

【主な特定財源】

市債　ｱﾒﾆﾃｨｰ久美浜整備事業債（過疎対策債）　24,800千円

事業所管課	建設部／土木課

予算科目	08土木費	03河川費	03河川新設改良費	
事業名	01 河川改修事業			決算書
細事業名	01 河川改修事業			P.282

決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②－①)	執行率
15,942千円	36,877千円	20,935千円	43.2 %

【主要な事務・事業及び成果の概要】

災害・事故等を未然に防止するため、河川施設の改修を実施した。

○事業実績　（単位：千円）

河川名	測量試験費	工事請負費	用地補償費	登記委託料 事務費等	合計
在中川水門設備(弥栄町和田野)	263	3,188			3,451
家の奥川改修(久美浜町蒲井)		9,770	1,545	1,176	12,491
合計	263	12,958	1,545	1,176	15,942

参考		
	繰越明許費を除いた最終予算額	16,029千円
	実質的な予算執行率	99.4 %

■平成22年度への繰越事業　20,848千円
家の奥川改修（久美浜町蒲井）　平成22年5月完成

【事務事業評価】

災害・事故等を未然に防止するため、河川施設の事前の改修は必要。

【主な特定財源】

国補	地域活性化･公共投資臨時交付金	3,000千円
市債	河川整備事業債（合併特例債）	12,100千円

事業所管課	建設部／土木課

予算科目	08土木費	03河川費	02河川維持費	
事業名	01 河川維持管理事業			決算書
細事業名	02 河川維持補修事業			P.282

決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②－①)	執行率
5,691千円	5,917千円	226千円	96.1 %

【主要な事務・事業及び成果の概要】

災害・事故等を未然に防止するため、土砂の堆積、堤体の欠損等によって通水等に支障が生じている河川施設の維持補修を実施した。

○事業実績　（単位：件、千円）

区分		峰山	大宮	網野	丹後	弥栄	久美浜	その他	合計
消耗品	件数							1	1
	金額							25	25
修繕料	件数	1		1		2	1		5
	金額	105		298		371	100		874
土地借上料	件数			1					1
	金額			17					17
工事請負費	件数					1	1		2
	金額					3,360	1,415		4,775
合計	件数	1	0	2	0	3	2	1	9
	金額	105	0	315	0	3,731	1,515	25	5,691

※ 土地借上料：網野町島津（待谷川河川用地） 105.56㎡

【事務事業評価】

土砂の堆積、堤体の欠損等によって通水等に支障が生じている河川施設の補修を行うことにより、災害・事故を未然に防げた。

【主な特定財源】

国補　地域活性化･公共投資臨時交付金　1,100千円

事業所管課	建設部／土木課

予算科目	08土木費	06港湾費	01港湾総務費	
事業名	02 ｱﾒﾆﾃｨｰ久美浜管理事業			決算書
細事業名	01 ｱﾒﾆﾃｨｰ久美浜管理事業			P.294

決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②－①)	執行率
1,973千円	2,040千円	67千円	96.7 %

【主要な事務・事業及び成果の概要】

アメニティー久美浜公園の適正な管理により、市民の憩いの場を提供するとともに地域の魅力の創造と久美浜湾周辺市街地の活性化に寄与することができた。

○ 需用費（光熱水費・修繕料） 74 千円

○ アメニティー久美浜公園管理委託料 1,899 千円
管理内容：公園内の清掃及び芝生の施肥、除草、草刈等

アメニティー久美浜公園（28,154.39㎡）
京都府と京丹後市が整備した施設を一体的に管理しているものであり、
京都府施設の管理に係る経費については、京都府より委託金を受けている。
（面積内訳）
京都府 10,575.29㎡
京丹後市 17,579.10㎡

【事務事業評価】

市民の憩いの場の提供と周辺に点在する観光施設との連携による久美浜湾周辺市街地の活性化に寄与している。平成22年度には公園内に公衆トイレが整備されることもあり、ますます港湾公園としての役割を期待されている。

【主な特定財源】
府委 ｱﾒﾆﾃｨｰ久美浜管理委託金 1,598千円

事業所管課	建設部／管理課

平成２２年度　京丹後市行政評価委員会　施策評価結果（案）

施策名	河川・海岸・港湾の整備	担当部局
		建設部

評価結果

１　施策目的について

施策目的については、河川改修、海岸の保全対策、久美浜湾の水質浄化という目的が明確に示されており、わかりやすく記載されている。

しかし、めざす目標については、久美浜湾の水質浄化の指標しか示されていない。河川や海岸に関する指標設定も必要である。

２　施策の達成度について

施策の達成度を計るものが、久美浜湾の水質浄化の指標しか示されていないにもかかわらず、水質浄化に関する事業は他施策で整理されている。このため、施策の達成度を評価しにくい。

３　事業構成の有効性について

施策目的や目標に掲げている久美浜湾の水質浄化に関する事業が、この施策の構成事業にない。水質浄化に関する事業は他施策で整理されているが、今後、市民参加による政策形成が求められるため、この施策の構成事業としても上げ、施策内容をわかりやすくしておく必要がある。

要するに、目的・目標と事業構成の再整理が必要である。

４　事業の優先度について

特段に評価結果と異なる意見もなく、評価結果はおおむね妥当である。

５　今後の施策展開について

（１）事業名称について

「河川環境整備事業」「河川改修事業」「河川維持補修事業」という事業名称があるが、事業内容がどう異なっているのか、事業名称を見てもわかりにくい。このため、事業名称をシンプルでわかりやすいものにするべきである。

ただし、行政内部で仕事を進めていく都合上、現在の事業名称を変えない方がいいのであれば、外部に出すときは、正式名称と通称とを設けるといった工夫をしていくべきである。

（２）河川改修の年次計画について

河川改修について、地域要望を踏まえた数ヵ年の年次計画を立て、河川未改修箇所の削減に向けた目標管理を図るべきである。

６　その他

海岸のごみが非常に多い。市民団体等が対応しているが、行政の関わりを強化することも必要である。